

広域圏だより

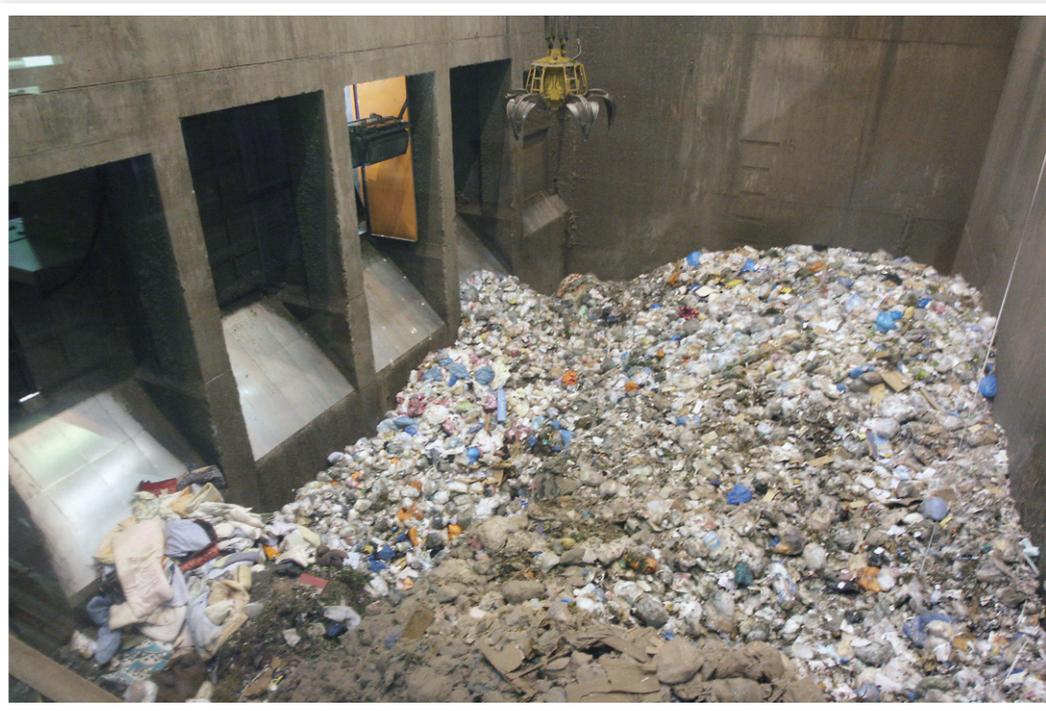
No.

47

高岡広域エコ・クリーンセンター



搬入されたごみをいったん貯留するごみピット。ごみを攪拌することでごみ質を均一化し、燃焼の安定を図ります。3市から搬入されるごみを最大7日分貯留することができます。



8年目の高岡広域エコ・クリーンセンター 改めて考える ごみの減量化

高岡広域エコ・クリーンセンターは、平成26年10月の運営開始から8年目を迎えました。施設では高岡市、氷見市、小矢部市の燃やせるごみを焼却し、余熱を利用した発電も行っています。

本号では、運営開始以降の施設の状況をご紹介します。「ごみの減量化」について、改めて考えてみます。

全体としてはごみ量は減少傾向にあるもの…

高岡広域エコ・クリーンセンターには、3市の定期収集で集められる燃やせるごみのほか、事業所からの一般廃棄物である燃やせるごみが搬入されています。運営開始以降令和2年度までに搬入されたごみ量の状況は、グラフのとおりです。

全体としては、令和元年度を除き少しずつはあるものの減少の傾向にあります。

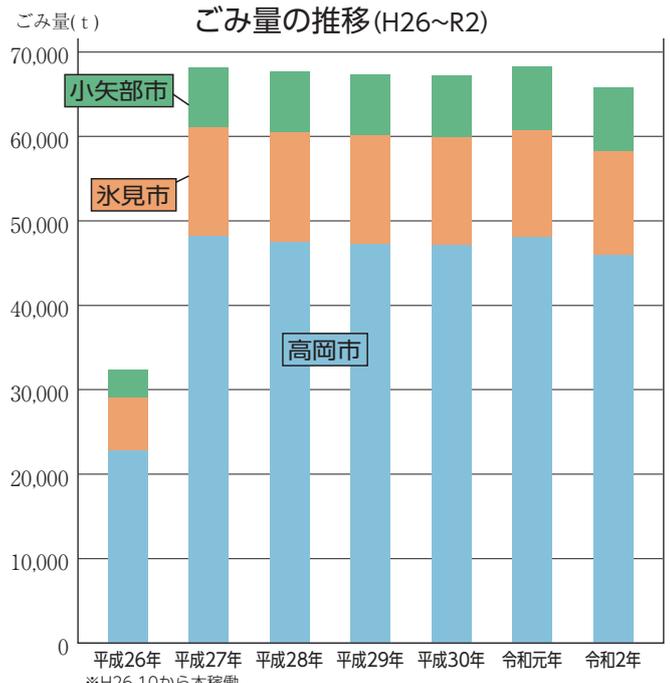
しかし、人口一人当たりのごみ量に換算すると、平成27年度が272kg、令和2年度が275kgとなります。(※1)

単純に「減量が進んでいる」とは言えません。

(※1) 国勢調査の人口で調査年度について算出したもの。



搬入されるごみを計量



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
高岡市	22,908.29	48,192.43	47,592.07	47,323.08	47,170.98	48,123.85	46,060.37
氷見市	6,143.84	12,955.46	12,947.34	12,818.55	12,701.29	12,680.37	12,215.68
小矢部市	3,266.65	7,035.29	7,144.13	7,141.11	7,310.70	7,512.51	7,487.60

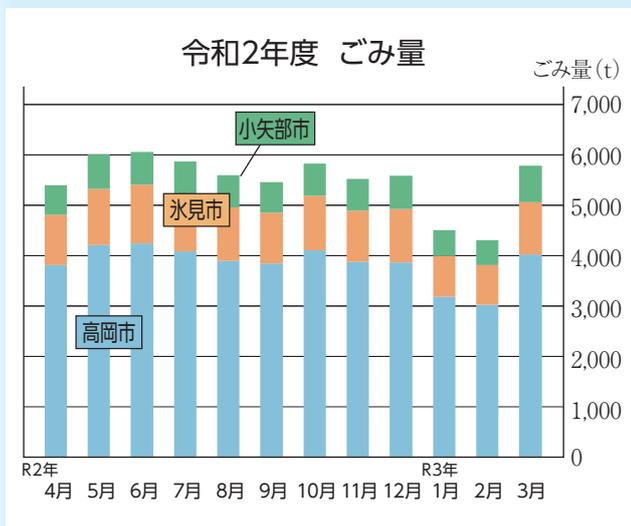
ごみの量と施設の規模は現在ほぼ拮抗しています

施設は一日あたり85トンの焼却能力を有する炉が3炉、合計一日あたり255トンの焼却能力を有しています。搬入されるごみ量に対しては一見して十分な能力があるように思われます。

しかし、安全で安定した施設の運営のためには定期的な点検と

整備が欠かせません。実際の稼働日数は各炉年間270日程度が上限です。現在の搬入量に対して支障はないものの、搬入量と施設規模とは、ほぼ拮抗しており、余裕があるとは言えません。

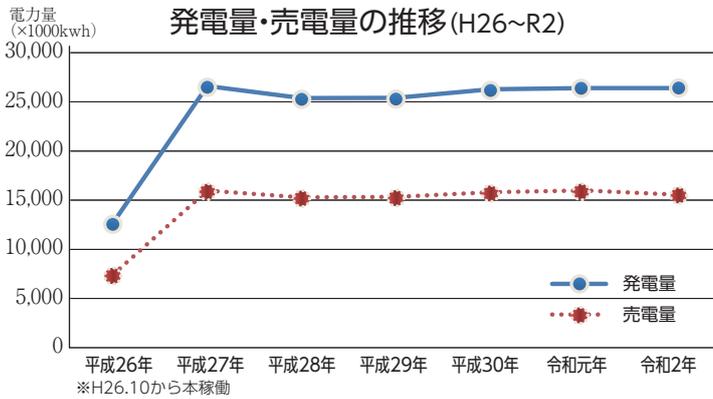
今後のごみの増量を抑え、減量を進める必要があります。



高岡広域エコ・クリーンセンター 令和2年度施設運営状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの運営状況についてお知らせします。

- (1) ごみ量
搬入されたごみの量は65,769tで、3市の割合は高岡市70.1%、氷見市18.6%、小矢部市11.3%でした。
- (2) 発電量
年間の総発電量は26,397,380kwhでした。売電量は15,543,902kwh(総発電量-施設での使用電力量)でした。
- (3) 排ガス
施設からの排ガスは、法律の基準より厳しい自主基準を設けて管理しています。その状況は左表のとおりです。



ごみ発電の余剰電力 年間では約3千5百世帯分に相当

施設にはボイラー、タービン発電機を備えており、ごみの焼却により発生する熱エネルギーを回収して発電を行っています。発電した電力は施設内で使用するほか、余剰電力は売却しています。発電量、売電量の推移は左図グラフのとおりです。これまでの年間売電量は1千5百万〜1千6百万kWhで推移しており、一

ごみ発電による電力を得ることと、その分は、火力発電での石油や石炭は使わずに済んだこととなります。特に、ごみの中でも自然由来のものについては、温室効果ガスである二酸化炭素に関して「カーボンニュートラル」が成立します。

しかし、ごみを焼却すると二酸化炭素が発生することは、避けることができません。

また、焼却後の灰を最終処分する3市の処分場にも限度があるため、ごみを適切に焼却して最終処分量を縮減することも必要です。

ごみの減量は、温室効果ガスの削減、地球温暖化の防止の面から必要不可欠な事となっています。

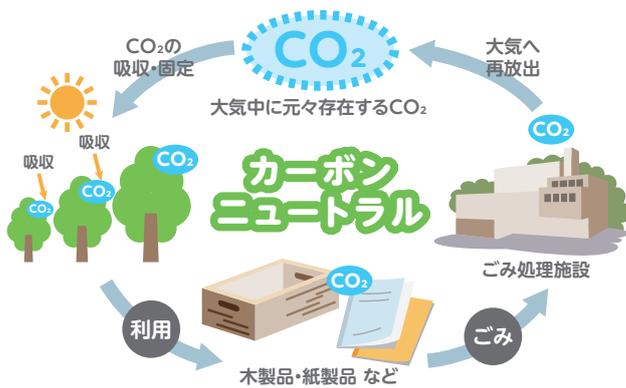
地球環境の観点からごみの減量を考える

一般家庭の年間使用電力量で計算すると、年間約3千5百世帯分の電力量を供給していることとなります。(※2)

(※2) 環境省資料から一般家庭の年間電力量を4,322kWhとして算定



タービン発電機



ごみ減量…具体的に考えてみましょう

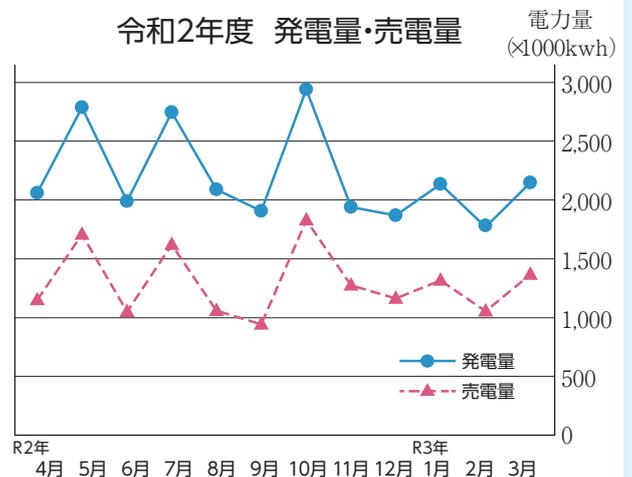
令和2年度 排ガスの状況

項目	単位	1号炉	2号炉	3号炉	自主基準	(法基準)
ばいじん	g/mN	0.0000	0.0000	0.0000	0.008	(0.08)
いおう酸化物	ppm	0~15	0~17	0~14	25	(約500) ^{※1}
塩化水素	ppm	0~18	0~19	0~19	25	(約430) ^{※1}
窒素酸化物	ppm	31~42	17~40	12~40	50	(250)
ダイオキシン類	ng-TEQ/mN	0.000052	0.006	0.000032	0.05	(1) ^{※2}
水銀濃度	μg/mN	1.0未満	1.0未満	1.0未満	-	(50以下)

※1 いおう酸化物と塩化水素は法律の基準をppm濃度に換算した数値を表す。

※2 ダイオキシン類の単位にあるTEQは毒性等量を表す。

令和2年度 発電量・売電量



「3R」がごみの減量の基本です

ごみの減量に関する基本的な取り組みとして示されているのが「3R」。各「R」について改めて考えれば、決して難しい取り組みではありません。

Reduce

リデュース

ごみの発生そのものをどう抑えるかということになります。物を長く大切に使うことのほか、過剰包装の商品を避けること、マイバックを活用してレジ袋を使わないことなども含まれます。

Reuse

リユース

使えるものを繰り返し使うことです。ビール瓶など、回収、洗浄の後、再び使用するリターナルビンが代表例と

Recycle

リサイクル

資源として再利用することです。ペットボトルからの再生プラスチックや、新聞紙、段ボールからの再生紙が代表的なもので、既に取り組んでいただいています。まずは資源ごみを確実に分別することが大切です。改めて分別のルールを確認しましょう。

■各市でのごみの分別はホームページからご確認いただけます。

・高岡市環境サービス課

電話 0766-22-2144

高岡市 HP

「家庭系ごみの分け方と出し方」



・氷見市環境防犯課

電話 0766-74-8065

氷見市 HP

「家庭ごみの分け方出し方及びごみ収集計画表」



・小矢部市生活環境課

電話 0766-67-1760

小矢部市 HP

「ごみと資源の分け方・出し方」



地域での取り組みをお聞きしました

あねはん劇団(氷見市連合婦人会)



地域でのごみの減量化に取り組んでいる「あねはん劇団」。高木さん、宮下さんに、取り組みの状況をお聞きしました。

◆現在具体的に取り組んでいることは

●食品ロスの削減として、ま

感じていることは

●ごみの量が多いところを改めて知ることになったと思っています。

◆印象に残っていることはありますか

●マイバック運動です。県全体での取り組みに積極的に参加し、進めてきました。今では、全国的な取り組みに広がり、誇らしいと感じています。確実にごみの減量になっていると思います。

◆ありがとうございました。

食品ロスについて考えてみませんか

まだ食べられるのに、ごみとして捨てられてしまうのが「食品ロス」。SDGsのターゲットの一つとされる世界的な課題である一方、家庭での発生量も多く、身近な課題として取り組む必要がありま

す。高岡地区広域圏事務組合では、家庭の食品ロスを一週

間記録できる「食品ロスダイアリー」を作成しています。記録結果は「環境負荷軽減」「家計の節約」の面から計算・分析することができま

す。食品ロスについて、ご

みの減量と家計の節約、両面から考えてみませんか。

7日チャレンジ! 食品ロスダイアリー

- 1 知ろう! 食品ロスのこと.....2
- 2 見つけよう! あなたの家の食品ロス.....4
- 3 チャレンジ! 7日間ではどうなるかな?.....7
- 4 考えてみよう!.....15

食品ロスって何ぞや? いっしょに考えてみよう!



小学生にも取り組める内容で、施設見学の際の資料の一つとしても配布しています

配布を希望される方は高岡地区広域圏事務組合にご連絡ください TEL0766-91-2101

フードドライブの取り組みが進んでいます

フードドライブは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体などへ提供する取り組みです。
この数年各地で開催され、圏域内でも取り組みが進んでいます。

小矢部市 8月19日

Food Drive

Food Drive

氷見市 7月29日

氷見市環境保健衛生協会と氷見市連合婦人会が連携して、藤見台公民館で実施されました。

集められた食品は市内の子ども食堂、氷見市社会福祉協議会に寄付されました。



「ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます」氷見市連合婦人会からのお礼の言葉です

Food Drive

高岡市 8月6日～8日

アルビス株式会社、エコーイフを楽しむ市民の会高岡、

紹介した取り組みは、フードドライブの定着、浸透を図るため、県の主唱による「とやまりレーフードドライブ・キャンペーン」の一環で実施されています。フードドライブに関する富山県、各市の問い合わせ先は、次のとおりです。

富山県

生活環境文化部 環境政策課
TEL 076-444-3140

高岡市

市民生活部 地域安全課環境政策室
TEL 0766-20-1353

氷見市

市民部 環境防犯課
TEL 0766-74-8065

小矢部市

民生部 生活環境課
TEL 0766-67-1760



高岡西部中学校生徒会が積極的に参加され、100点以上の食品を持参されました

高岡市が協力し、アルビス美幸町店や市庁舎で食品の寄付を受け付け、1270点の食品が集まりました。



小矢部市食生活改善推進協議会では、組織を活かして、市内各所で年複数回実施する予定

小矢部市食生活改善推進協議会の主催による、初めての取り組み。集められた110点の食品は砺波市の「NPO法人もつたないフードバンクとなみ」に贈呈されました。

とやまマリッジサポートセンターについて

結婚を希望する20歳以上の方を対象に、「お見合い会員」を募集中。会員同士の個別マッチングなどのサービスを受けることができます。

【問合せ】 とやまマリッジサポートセンター

富山市湊入船町6-7 TEL 076-471-6510

入会登録料 10,000円(2年間有効)

組合では入会登録料の半額を助成しています。

お問い合わせは TEL 0766-91-2101

受付時間 月、水～金 10:00～18:00

(祝日および年末年始を除く)

■ 高岡サテライト会場 (毎週 水・日曜)

ウイング・ウイング高岡 10:00～16:00

広域縁結びボランティア(高岡地区) 募集中

【募集要件】月に1回程度の打ち合わせに参加できる方 / 営利目的で活動しない方 / 結婚相談・結婚紹介を職業としない方
※令和4年3月に活動内容の説明及び婚活に関する研修を行う予定です。詳しくはお問合せください
高岡地区広域圏事務組合総務課 TEL 0766-91-2101

婚活支援事業のご案内

●広域縁結びボランティア(高岡地区)

サポート対象者 20歳～50歳
問合せ 高岡地区広域圏事務組合総務課
TEL 0766-91-2101

●氷見市縁結びおせっかいさん

サポート対象者 20歳～概ね50歳
問合せ 氷見市地域振興課
TEL 0766-74-8190

●おやべの縁結びさん

サポート対象者 20歳～50歳
問合せ 小矢部市定住支援課
TEL 0766-67-1760 (内線733)

※相談やサポート登録に費用はかかりません。詳細は、お住いの市の問合せ先へおたずねください。

ボランティアが縁結びのお手伝いをします

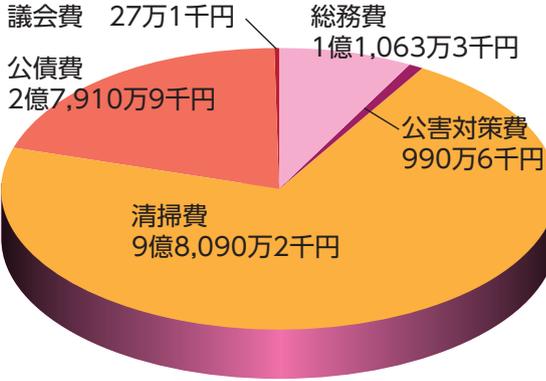
令和2年度高岡地区広域圏事務組合 決算

決算

令和2年度歳入歳出決算は、令和3年10月11日開催の組合議会定例会において審議の上、認定されました。内訳については下記のグラフのとおりとなっています。

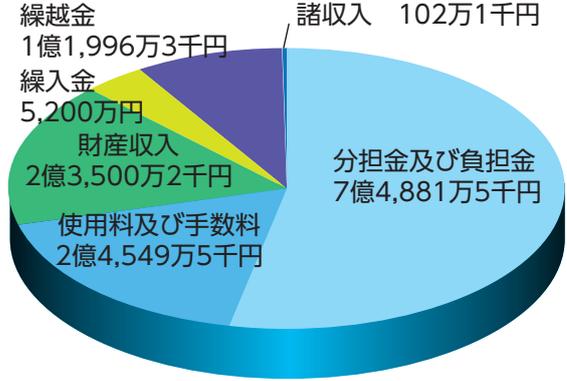
＜一般会計＞ 歳入歳出差引額は2,147万5千円となり、令和3年度へ繰り越しました。

歳出 13億8,082万1千円



議会・総務費 議会の開催など組合の運営に係る基本的費用
 公害対策費 3市が採取する公害試料の分析費用
 清掃費 ごみ処理施設の運営管理に要する費用
 公債費 ごみ処理施設建設に係る借入金の償還費用

歳入 14億229万6千円



分担金及び負担金 組合の運営に対する3市からの分担金
 議会の議決で決定
 使用料及び手数料 3市共通のごみ指定袋によるごみ処理手数料
 財産収入 ごみ処理施設での発電による余剰電力の売却収入

＜特別会計＞ 高岡地区ふるさと市町村圏基金(10億円)の運用益によって、圏域の振興に関する事業を実施するため「地域振興事業会計」を設置しています。令和2年度の決算は、歳入2,540万円、歳出273万8千円となり、歳入歳出差引額2,266万2千円を令和3年度へ繰り越しました。

主な事業として、広域婚活支援事業やごみ減量化推進事業を実施しています。

高岡地区広域圏事務組合の 機関について

執行 機関として、組合では構成3市の市長により構成される「理事会」を設けています。

令和3年7月13日開催の理事会において、理事長に角田高岡市長が選出されました。

理事会

理事長 角田 悠紀(高岡市長)
 副理事長 林 正之(氷見市長)
 理事 桜井 森夫(小矢部市長)

議決

機関として、定数14名からなる議会の議会で各市議会議員のうちから選挙されます。

令和3年12月24日の臨時議会において、狩野議員(高岡市)が議長に選出されました。

組合議会

議長 狩野 安郎(高岡市)
 副議長 小清水勝則(氷見市)
 議員

(高岡市 定数7)

篠井 哲治、林 貴文、中川加津代
 上田 武、金森 一郎、大井 正樹

狩野 安郎

(氷見市 定数4)

稲積 佐門、越田喜一郎、松原 博之
 小清水勝則

(小矢部市 定数3)

山室 秀隆、福島 正力、中田 正樹

高岡地区広域圏事務組合とは？

高岡市・氷見市・小矢部市で構成する一部事務組合(特別地方公共団体)です。当組合ではごみの焼却、公害試料の分析のほか、圏域の振興に関する事業を実施しています。

編集・発行 高岡地区広域圏事務組合 総務課
 〒935-0035 氷見市上田字字笹谷内50番地 ☎0766-91-2101 FAX0766-91-9096

ホームページアドレス <https://www.takaoka-kouiki.jp/> メールアドレス soumu@takaoka-kouiki.jp

この紙は森林資源保護のため再生紙を使用しています。

印刷/株式会社アヤト